

「我が懐かしき歌」補遺 53 2019/8/31(土)

「しおさいの詩(うた)」は、昭和 46 年(1971)にリリースされた小椋佳のデビューシングルです。1976 年、米国留学中に 2 週間ほど、同じ研究科のポストドクでいらした F 山さん夫妻と一緒に、イエロー・ストーン、グランド・キャニオンなどの国立公園を、我がポンコツ車(死語でしょうか?)の Pontiac ステーションワゴンでドライブして回りました。その折、車中で F 山さんが日本から持参したカセットテープで流していた曲の中にこの歌がありました。なお、その旅にはもうひとり偶然、ちょうど日本から F 山さん夫妻を訪ねてやってきた女性(後に私の妻)が同乗していました。

『しおさいの詩』

作詞: 小椋佳 作曲: 小椋佳

汐さいの浜の岩かげに立って
汐さいの砂に涙を捨てて
思いきり呼んでみたい
果てしない海へ
消えた僕の 若い力
呼んでみたい
青春の夢にあこがれもせずに

青春の光を追いかけもせずに
流れていった時よ
果てしない海へ
消えた僕の 若い力
呼んでみたい

恋でもいい 何でもいい
他の全てを捨てられる
激しいものが欲しかった

汐さいの浜の岩かげに立って
汐さいの砂に涙を捨てて
思いきり呼んでみたい

果てしない海へ
消えた僕の 若い力
呼んでみたい

「我が懐かしき歌」補遺 52 2019/8/24(土)

「愛燦燦」(あいさんさん)は、昭和 61 年(1986)に発売された美空ひばりのシングルで、作詞・作曲はシンガーソングライターの小椋佳。本楽曲製作のきっかけは、「家族愛」をテーマに製作され、ハワイで撮影された『味の素』の CM 映像のバック音楽をホリプロの若き映像プロデューサーだった岩上昭彦が担当し、岩上のたつての願いでひばりがそのオファーを受諾したことでした。そこで完成したのが本楽曲だそうです。ひばりが亡くなった平成元年(1989)の『第 40 回 NHK 紅白歌合戦』では、ひばりと同じ三人娘の一人で大親友だった、雪村いづみがひばりの追悼として本楽曲を歌唱しました。また、2007 年の『第 58 回 NHK 紅白歌合戦』では、ひばりの生誕 70 周年を記念して、作詞・作曲を担当した小椋が生前のひばりの映像とのデュエットを披露しました。(参考: Wikipedia)

『愛燦燦』

作詞:小椋佳 作曲:小椋佳

雨 潜々と この身に落ちて
わずかばかりの運の悪さを 恨んだりして
人は哀しい 哀しいものですね
それでも過去達は 優しく睫毛に憩う
人生って 不思議なものですね

風 散々と この身に荒れて
思いどおりにならない夢を 失くしたりして
人はかよわい かよわいものですね
それでも未来達は 人待ち顔して微笑む
人生って 嬉しいものですね

愛 燦々と この身に降って
心秘そかな嬉し涙を 流したりして

人はかわいい かわいいものですね
ああ 過去達は 優しく睫毛に憩う
人生って 不思議なものですね

ああ 未来達は 人待ち顔して微笑む
人生って 嬉しいものですね

「我が懐かしき歌」補遺 51 2019/8/17(土)

「知床旅情」は、森繁久彌が作詞・作曲を手がけた楽曲で昭和 35 年(1960)の発表。加藤登紀子による歌唱で有名なほか、美空ひばり、倍賞千恵子、桑田佳祐なども歌っています。知床は北海道北東部の知床半島一帯をさし、知床国立公園があり、2005 年には世界遺産に登録されました。森繁は 1960 年の映画『地の涯に生きるもの』の撮影で知床半島の羅臼村(現:羅臼町)に長期滞在した際に本曲を制作し、その最終日に羅臼の人々の前で「さらば羅臼よ」という曲名で披露しました。1962 年の第 13 回 NHK 紅白歌合戦では、森繁自身が歌っています。ピリカ(pirka)は、アイヌ語で「良い」「美しい」「きれいだ」「立派だ」「豊かだ」という意味で、北海道今金町の地名、美利河。(参考: Wikipedia)

『知床旅情』

作詞・作曲: 森繁久弥

1.

知床(しれとこ)の岬に はまなすの咲くころ
思い出しておくれ 俺たちのことを
飲んで騒いで 丘にのぼれば
遥(はる)か国後(くなしり)に 白夜(びやくや)は明ける

2.

旅の情(なさけ)か 酔うほどに さまよい
浜に出てみれば 月は照る波の上(え)
君を今宵こそ 抱きしめんと
岩かげに寄れば ピリカが笑う

3.

別れの日には来た ラウスの村にも
君は出て行く 峠を越えて
忘れちゃいやだよ 気まぐれカラスさん
私を泣かすな 白いかもめを

「我が懐かしき歌」補遺 50 2019/8/10 (土)

台風 10 号がちょっと気になりますが、今日も「ギラギラと輝く太陽」が照りつけています。「ヴァケーション」は昭和 38 年(1963)リリースされた曲。弘田三枝子、伊東ゆかりらが歌っていました。Connie Francis 自身、日本語でも歌っています。

『ヴァケーション』

作詞: Connie Francis 作曲: Hunter Hank

日本語歌詞: 漣 健児

ギラギラと輝く太陽背にうけて
青い海 泳ぎましょ
待ちどおしいのは 夏休み!

山に行くこともすてきな事よ
山びこが呼んでいる
待ちどおしいのは 秋休み!

冬は楽しいスキーに行きましょう
白い雪けり
寒さなんか忘れ すべるの
Go Go Go Go

マッシュポテトをみずべで
あの人と踊ろう
湖も呼んでいる
待ちどおしいのは 春休み!

待ちどおしいのは 冬休み!
冬は楽しいスキーに行きましょう
白い雪けり
寒さなんか忘れ するの
Go Go Go Go

マッシュポテトをみずべで
あの人と踊ろう
湖も呼んでいる

VACATION 楽しいな! (Woow!)
VACATION 楽しいな! (Wooooow!!)
VACATION 楽しいな! (One more time!!)
VACATION 楽しいな...

原詞

V-A-C-A-T-I-O-N! In the summer sun!
Put away the books, we're outta school!
The weather's warm, but we'll play it cool!
We're on vacation, havin' lots of fun!
V-A-C-A-T-I-O-N! In the summer sun!
We're gonna grab a bite at the pizza stand
Write love letters in the sand
We're on vacation, and the world is ours!
V-A-C-A-T-I-O-N! Under summer stars!
Yeah, we'll hop in our jalopy to a drive-in movie
And have a look at the show
We're gonna hug and kiss, just like this
And I can't wait to go-oo-oo
We're gonna mash potato to a jukebox tune
Park your car 'neath an August moon
We're on vacation, till the start of the Fall!
V-A-C-A-T-I-O-N! We're gonna have a ball! Goooooo!
V-A-C-A-T-I-O-N! Gonna have a ball!
Oh-ho, we'll hop in our jalopy to a drive-in movie

And have a look at the show
We're gonna hug and kiss, just like this
And I can't wait to go-oo-oo
We're gonna mash potato to a jukebox tune
Park your car 'neath an August moon
We're on vacation, till the start of the Fall!
V-A-C-A-T-I-O-N! We're gonna have a ball!
Yeah! VACATION! Gonna have a ball! (fade)

「我が懐かしき歌」補遺 49 2019/8/3 (土)

「マイウェイ」はポール・アンカがフランク・シナトラのために作った歌。詞はアンカ自身が、曲はクロード・フランソアによるメロディを活用。1969年にリリースされ、空前の大ヒットとなりました。シナトラ以外にも多くのミュージシャンによってカバーされています。エルヴィス・プレスリーは、1970年代半ばからコンサートでこの曲を歌い始めました。日本語の訳詞には、岩谷時子による訳詞（「やがて私もこの世を去るだろう〜」）、中島潤による訳詞（「今船出が近づくこの時に〜」）をはじめ、何種類かのバージョンがあるようですが、私がおぼろげに覚えていたのは中島潤の訳詞でした。以下のような多くの歌手が歌っています。尾崎紀世彦（英語詞+岩谷時子による日本語詞）・布施明（中島潤訳詞）・森進一・五木ひろし・沢田研二・南沙織・小柳ルミ子・西城秀樹・野口五郎・郷ひろみ・藤圭子・水原弘・平井堅・美空ひばりなど。布施明は『NHK 紅白歌合戦』でこの曲を3回（1972年、2004年、2009年）歌っています。（参考: ビートルズの世界、Wikipedia)

『マイウェイ』

訳詞: 中島潤 作曲: FRANCOIS CLAUDE

今 船出が近づく この時に
ふとたたずみ 私は振りかえる
遠く旅して 歩いた若い日を
すべて心の 決めたままに

愛と涙と ほほえみにあふれ

今 思えば 楽しい思い出よ
君につげよう まよわずに行くことを
君の心の決めたままに

私には愛する 歌があるから
信じたこの道を 私は行くだけ
すべては心の 決めたままに

G ティボー作詞・J ルヴォー作曲・岩谷 時子訳詞 (映画「マイ・ウェイ」主題
歌)

やがて私も この世を去るのだろう
長い年月 私は幸せに
この旅路を 今日まで越えてきた
いつも 私のやりかたで

こころ残りも 少しはあるけれど
人間(ひと)が しなければならぬことならば
できる限りの 力を出してきた
いつも 私のやり方で

あなたも見てきた 私がしたことを
嵐もおそれず ひたすら歩いた
いつでも 私のやり方で

人を愛して 悩んだこともある
若い頃には はげしい恋もした
だけど私は 一度もしていない
ただ ひきょうなまねだけは

人間はみないつかは この世を去るだろう
誰でも 自由な心で暮らそう
私は 私の道を行く

[Verse 1]

And now, the end is near

And so I face the final curtain
My friend, I'll say it clear
I'll state my case, of which I'm certain
I've lived a life that's full
I traveled each and every highway
And more, much more than this
I did it my way

[Verse 2]

Regrets, I've had a few
But then again, too few to mention
I did what I had to do
And saw it through without exemption
I planned each charted course
Each careful step along the byway
And more, much more than this
I did it my way

[Verse 3]

Yes, there were times, I'm sure you knew
When I bit off more than I could chew
But through it all, when there was doubt
I ate it up and spit it out
I faced it all, and I stood tall
And did it my way

[Verse 4]

I've loved, I've laughed and cried
I've had my fill, my share of losing
And now, as tears subside
I find it all so amusing
To think I did all that
And may I say, not in a shy way
Oh, no, oh, no, not me
I did it my way

[Verse 5]

For what is a man, what has he got?
If not himself, then he has naught
To say the things he truly feels
And not the words of one who kneels
The record shows I took the blows
And did it my way

[Outro]

Yes, it was my way